

教育に参加した隊員の感想

▶「空曹資質強化教育」(NCOPES) 24.9.24～9.26



「教育に参加し、現在のTOEICスコアでは、まだまだコミュニケーション能力が不足していると痛感しました。今回の経験を活かし英語能力の向上と自分をステップアップさせたいと思います。そして、記念すべき初めての外国の友達となってくれた、嘉手納基地でのエスコート担当の空軍兵にもう一度会いに行き、成長した私を見せたいと思います。」

西部航空警戒管制団 西部防空管制群 渡邊3曹



「今回の教育では、自分の英語の能力不足を痛感しましたが、伝えたい言葉が解らずとも、それを体で表現することができれば意志が通じ合えること、解らないから何もしないのではなく、解らないからこそ何をすれば良いのか考え、行動をしなければいけないということを痛感しました。」

西部航空警戒管制団 第43警戒群 谷川3曹

▶「空士能力向上教育」(APDS) 24.9.12～9.13



「今回の教育を通じて、数多くの貴重な経験を得ることができたと実感している。今回のような下士官交流は、米軍と自衛隊の協力関係をより深めていくためにも良い機会だと感じた。日本と共に任務に従事している米軍のプロ意識の高さについて、私自身も見習わなければならない。今後、職務を遂行する上で初心を忘れず、プロ意識の高い整備員になるよう決意を新たにした。」

第8航空団 整備補給群 赤坂士長



「今回の教育を通じて感じたことは、米空軍の空士がこのような機会を通じて入隊直後から、非常に高いプロ意識を養成されているという点だ。軍隊と自衛隊が法令及び組織上異なるとはいえ、隊員の能力向上及び人間性の向上において多大な差異を生み出すものと考えられる。米国軍人の姿勢や思考、その形成過程に触れることができ非常に貴重で有益な機会だった。」

第8航空団 飛行群 猪狩士長